

出題分析			
試験時間	75 分	配点	150 点
		大問数	2 題
分量 (昨年比較)	[減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化]
【概評】 〈現代文〉 問題文の分量・設問形式ともに例年どおりの出題。同志社大で頻出の空欄補充問題は、2025 年度の同日程では出題されなかった。 〈古文〉 問題文の分量・設問形式ともに例年どおりの出題。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文 (評論) 山守伸也 「日本人は日記とどう向き合ってきたか」 ○行数 : 133 行	日本人の日記との向き合い方の系譜と社会的価値について述べた文章。(一)の内容説明問題の選択肢 4 は「内省を交えながら公の記録」が不適當。(二)の内容説明問題の選択肢 5 は「獲得しようとする人々」が不適當。(四)の内容説明問題は、交換日記の秘匿性と SNS の共通点に着目する。(六)の記述問題は、問題文後半の内容をまとめる。 ※ (昨年度) 評論、128 行、7 問 (7)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準
二	古文 (平安・説話) 作者未詳 『今昔物語集』 ○行数 : 31 行	自身の不用意な発言により、一度は殺害を思いとどまった貞道に討伐される男の話。(一)の語句問題は標準。(二)の内容説明問題は、貞道が頼信を「をこのことをものたまふ人」と評していることを踏まえる。(三)(四)の現代語訳は、それぞれ「おのづから」「たまへ (下二段活用)」の用法に注意する。(五)の文法問題は「え」の識別がポイント。 ※ (昨年度) 成立未詳・注釈書、27 行、7 問 (8)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準

※「行数」は問題文の行数。同志社大学の問題文は通常 57 字/行 (20 行/頁)。

※昨年度のデータは、同一日の試験問題にもとづく。

設問構成 (設問数・形式・内容)													
大問 番号	設問数 (枝問総数※)	選択式 枝問数	記述式 枝問数	漢字	内容 説明	理由 説明	全文 把握	空欄 (脱文) 補充	主語 確認	現代 語訳	訓読 訓点	語句 文法 知識	その 他
一	6問 (6)	5	1		5>1		1						
二	7問 (8)	7	1		2>1		1			2		3	

※「枝問総数」は、各設問（小問）に含まれる枝問も個々に数えた場合の全設問（小問・枝問）の総数。設問形式・内容別の設問数も、これと同様の方法で算出した（ただし漢字の読み・書き取りの設問は、枝問に分かれている場合も設問単位で「1問」と数える）。

※「設問内容」の「>」の後の**太字斜体の数字**は、記述式の枝問数を示す。

合格のための学習法
<p>〈現代文〉</p> <p>長文の読解練習に加えて、要旨を端的にまとめる記述問題の練習が不可欠である。選択式問題は標準的な設問が多いので、記述問題に多くの時間をかけられるよう、時間配分にも注意を払いたい。</p> <p>〈古文〉</p> <p>設問は、文法や語句といった知識を問う設問だけでなく、文脈を踏まえた現代語訳や細部の把握が必要な内容合致問題も多く出題されるので、高い読解力が求められる。</p>